

東京電機大学大学院 先端科学技術研究科 平成26年度 講義要目(シラバス)

| | |
|------|---|
| 科目名 | 電気電子システム工学特別研究 |
| 英文名 | Advanced Studies for Doctoral Dissertation Research |
| 学部学科 | 先端科学技術研究科 電気電子システム工学専攻 |
| 配当学年 | 1～3年次 |
| 開講時期 | 年次継続 |
| 単位数 | 8.0 |
| 必選区分 | 必修 |
| 担当者名 | 研究指導教員 |

| | |
|-----------------|---|
| 目的概要 | 電気電子システム工学分野において、新規性があり、独創的で、工学的に有用な知見を得て、それを発表する能力を修得するため、関連分野の文献調査、研究課題の設定、研究の計画および実施、問題点の発見と解決法の考案、結果の解析・評価、論理的な記述・発表等を、研究指導教員の指導のもとで在学年限を通して行う。最終的な結果を博士論文としてまとめ、発表する。 |
| 教科書名 | 研究指導教員の指示による。 |
| 参考書名 | 研究指導教員の指示による。 |
| 評価方法 | 提出された論文および発表に関して、以下の各項目について評価を行う。 1. 電気電子システム工学分野において、博士としての水準の基礎学力を修得しているか。 2. 研究課題の設定が、博士として妥当なものであり、研究遂行および論文作成に当たっての方法が適切であるか。 3. 設定した研究課題に対して、適切な調査・実験を行い、それに基づく分析・考察が正しく行われているか。 4. 問題点の把握・整理が適切になされており、解決のための実践的な能力を修得しているか。 5. 論文の記述(本文、図表、参考文献など)が明確であり、序論・本論・結論が首尾一貫した論理構成であるか。 6. 電気電子システム工学分野において、新規性があり、独創的で、工学的に有用な結果を明示しているか。 7. 研究内容を英語で発表できる能力を修得しているか。 |
| テーマ・内容 | 研究指導教員の指示による。 |
| E-Mail address | 各指導教員 |
| 履修上の注意事項・学習上の助言 | 主体的、意欲的に取り組むこと。 |